

上ノ国町 歴史文化基本構想

普及版



50万年前～12万年前の海成段丘



ヒラメの水揚げ



海苔摘み



かたこもちづくり



ゼンマイ干し



湯ノ岱スキー場



保育所の園児



宮越地区の農業



信広山(上ノ国)



エゾ地の火まつり



ニシン漁のアバと網



くじら汁

「歴史文化」とは、文化財とそれに関わる人たちや周辺の自然環境が一体となったものです。

「上ノ国町歴史文化基本構想」は、わたしたちの町の歴史文化を地域の人たちが再認識し、継承するとともに教育はもちろんのこと産業・観光の分野でも活用し、魅力あるまちづくりを目指すものです。



平成 29 年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産総合活用推進事業)

上ノ国町歴史文化基本構想の概要

● 構想策定の目的

「歴史文化基本構想」は、地域の文化財を指定・未指定にかかわらず幅広く捉え、その周辺環境まで含めた「歴史文化」を総合的に保存活用するものです。

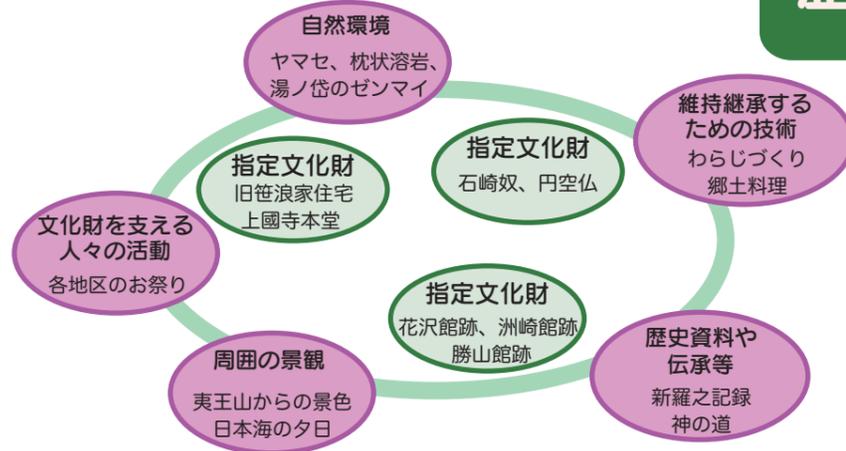


図1 歴史文化基本構想の対象範囲の概念図

上ノ国町では、旧笹浪家住宅や勝山館跡・円空仏など指定文化財を中心とした保存活用の取組みを進めていきました。
しかしながら、近年の急激な過疎化・少子高齢化による人材の不足によって、指定・未指定文化財や地域に伝わる伝承、郷土料理や祭典などが継承の危機に直面しています。
文化財は、図1のように人々の活動や周辺の自然環境と密接に関わっています。本構想では、これらを一体的に「歴史文化」として捉え、新たな文化財保護施策に展開させていくものです。

● 町の施策と構想の位置付け

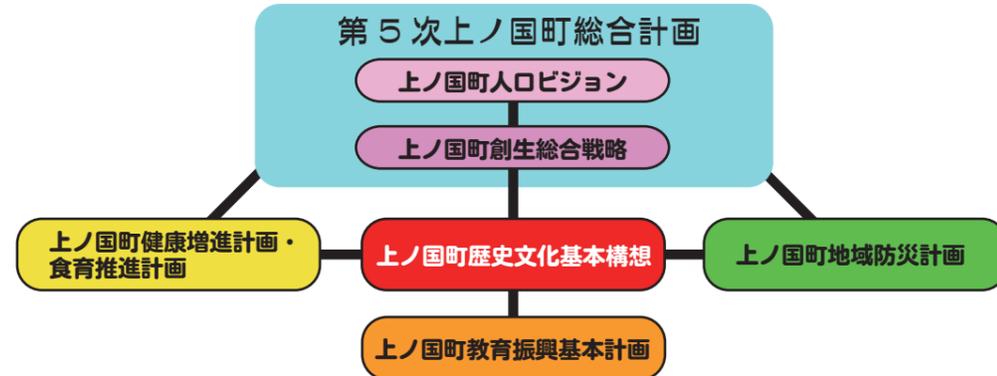
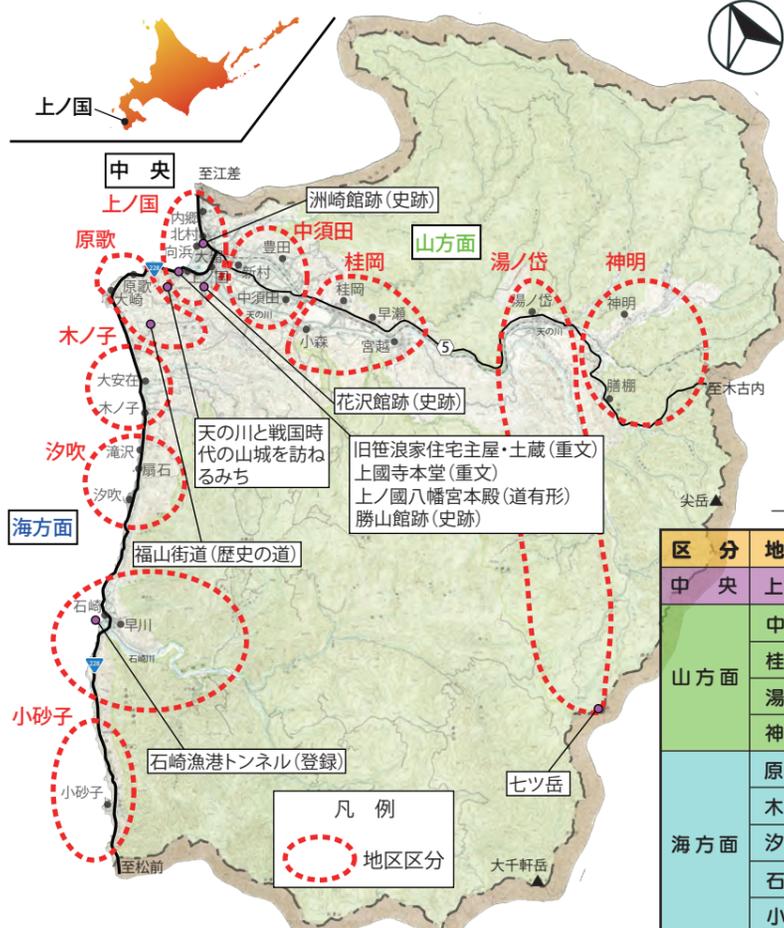


図2 諸計画模式図

本構想は、文化財をその周辺環境と一体的に捉えることによって、文化財を核とした地域の魅力の増進につなげ、教育はもとより歴史文化を活かして観光・産業・福祉などの振興も含んだまちづくりを目指すものです。
そのため、町の最上位計画の「第5次上ノ国町総合計画」をはじめ、図2のように各種計画との整合性を図りながら、様々な施策へ反映させていきます。
策定にあたっては、町内外の学識経験者などで構成する「上ノ国町歴史文化基本構想策定委員会」（以下、「策定委員会」）、町内の有識者で構成する「上ノ国町歴史文化基本構想調査部会」（以下、「調査部会」）の2つの組織を設置しました。
また、今回の構想では、調査部会が中心となって、策定に取り組んでいます。

● 町の地区区分

本構想では、地区分類をするにあたり、アンケート調査などで集計した各集落の歴史や文化の傾向を見出して、調査部会で検討をしました。
その結果、上ノ国町を海方面・山方面・中央と大きく分け、さらに各集落を10個の地区にまとめました(図3)。



区分	地区名	字名
中央	上ノ国	上ノ国・大潤・勝山・大留・向浜・北村・内郷
	中須田	中須田・新村・豊田
山方面	桂岡	桂岡・小森・早瀬・宮越
	湯ノ岱	湯ノ岱
	神明	神明・膳棚
海方面	原歌	原歌・大崎
	木ノ子	木ノ子・大安在
	汐吹	汐吹・扇石
	石崎	石崎・早川
	小砂子	小砂子

図3 上ノ国町の地区区分図

基本方針

策定委員会では、次に掲げた項目に着目して、構想の策定を取り進めました。
また、構想の策定後も継続してマイ文化財を集めていく予定です。

マイ文化財

上ノ国町にとって大事な文化財を「マイ文化財」と呼ぶことにしました。

調査をする

調査部会が各世代（大人・外部大学生・高校生・中学生・小学生・保育園児）を対象としたマイ文化財の調査をしました。

マイ文化財の分類

集計したマイ文化財から上ノ国町らしい文化財類型を見出し、7つに分類しました。

関連文化財群

上ノ国町特有の地域性と文化を物語るマイ文化財のまとまりを3つの「関連文化財群」として捉えました。

歴史文化保存活用区域

関連文化財群を地域住民が主体となって保存活用していくため、関連文化財群を構成するマイ文化財が集中している範囲を「歴史文化保存活用区域」に設定しました。

保存活用計画

保存活用を具体的にだれがいつ、どのように実施するのかなどの素案を定めて、今後の円滑な構想の推進に努めます。



カミゴン
(エゾ地の火まつりキャラクター)

上ノ国町らしいマイ文化財の7分類

アンケート調査等でマイ文化財を募集し、総数 608 件を集めることができました。

そして、集計した「マイ文化財」の整理を行ったところ、「上ノ国町らしい文化財類型」として①歴史、②食文化、③自然、④景観、⑤いのち、⑥まつり、⑦印象の7つに大別し、小分類として17に細別することができました（点線の後には、該当する主なマイ文化財を掲載しています）。

また、マイ文化財を分類した結果、上ノ国町の歴史文化の特徴として、3つにまとめることができました。

上ノ国町の歴史文化の特徴

・海底火山によって形成された地形やヤマセなどの自然環境から生まれた歴史文化
 ・中世における日本海交易の繁栄による歴史文化
 ・上ノ国の農業・漁業を中心とした産業によって形成された歴史文化

① 歴史 (261点)

- 有形 (94点) …… 上ノ国観音堂、旧笹浪家住宅 (重文)、上國寺本堂 (重文)
- 無形 (24点) …… 切り声、地藏講、念仏講、宮越村タント節、宮越内の沢基句
- 遺跡 (121点) …… 史跡上之国館跡、荒神堂跡、石崎漁港トンネル、昇平丸
- 伝説 (22点) …… 神の道、大蔵ニシン、逆さ水松、大平山の穴、沼の大蛇

② 食文化 (37点)

- 伝統 (33点) …… けんちん汁、かたこ餅、こうれん、つぼっこ汁
- 現代 (4点) …… フルーツポーク、根ポッケ、キノコ栽培、アユ

③ 自然 (66点)

- 海浜 (25点) …… 海成段丘、枕状溶岩、ポットホール、窓岩、文殊浜
- 山 (10点) …… 夷王山、七ツ岳、大千軒岳、ヤマセ、ブラックシリカ
- 川 (31点) …… 天の川、石崎川、古川、目名の沢、寅の沢と猫の沢

④ 景観 (86点)

- 景観 (55点) …… 宮越の田園風景、七ツ岳からの景色、イカ釣り船の出漁風景
- 場所 (31点) …… 天の川の遊歩道、花沢公園、花沢温泉、湯ノ岱温泉

⑤ いのち (99点)

- 人 (23点) …… 武田信広、蠣崎光広、南条広継、菅江真澄、新村久兵衛
- 動物 (28点) …… ゴジラエビ、イカ、エゾシカ、エゾサンショウオ、ヒグマ
- 植物 (48点) …… 上ノ国八幡宮の黒松、ヒバ自生林、キヌサヤエンドウ

⑥ まつり (36点)

- 伝統 (31点) …… 各地区のお祭り、大留鹿子舞、石崎奴、コシャマイン慰霊祭
- 現代 (5点) …… エゾ地の火祭り、産業まつり、てっくい祭り、カミゴン

⑦ 印象 (23点)

- 印象 (23点) …… みんな優しい、子育てしやすい町、おばあちゃんが元気、海や川がきれい、イベントが多い、四季の色々な匂いがある

人気のマイ文化財

アンケート調査は、保育園児、小学生、中学生、高校生、高校生、外部大学生 (弘前大学教育学部)、大人の6世代に分けて行いました。

ここでは、7分類別で複数の世代に支持された人気のマイ文化財を一部ですが、ご紹介します。

※黄色の星が支持した世代を示します。

歴史

「重要文化財 旧笹浪家住宅」



「史跡 上之国館跡 (勝山館跡)」



自然

「天の川」



「七ツ岳」



食文化

「こうれん」



「かたこ餅」



景観

「花沢温泉」



「湯ノ岱温泉」



いのち

「日本海に沈む夕日」



「武田信広」



「北海道旧纂図絵」 (函館市中央図書館所蔵)



「海の幸」



印象

「子育てしやすいまち」



「みんな優しい」



「カミゴン」



「エゾ地の火祭り」



まつり

次に、それぞれのマイ文化財を「関連文化財群」としてまとめてみました。

関連文化財群と歴史文化保存活用区域の設定

歴史文化保存活用区域の設定

● 関連文化財群 1 「天の川が育む “風の国”」

歴史	①天下泰平・大蔵鯨	②龍燈伝説・オフトの穴・大平山の穴	③窓岩・枕状溶岩	④ポットホール	⑤ハイアロクラスタイト	⑥天の川河口の砂洲・砂嘴、ヤマセ	⑦海成段丘	⑧七ツ岳	⑨ブラックシリカ
	⑩アユ釣り	⑪かたご餅	⑫風車のある風景	⑬宮越の田園風景	⑭湯ノ岱の紅葉	⑮湯ノ岱温泉	⑯ブナ施業林	⑰カミゴン	
	自然	景観	いのち						

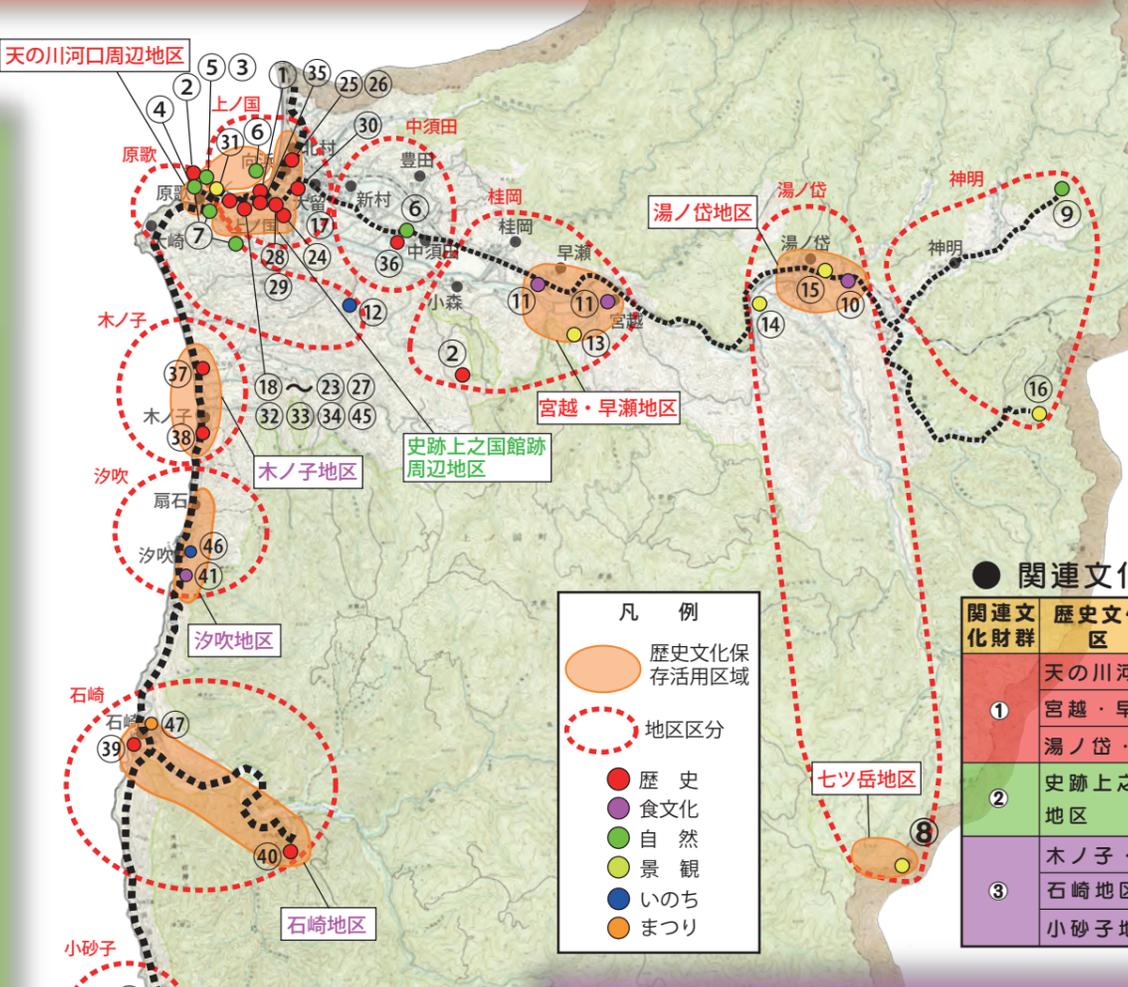
本構想では、「上ノ国町特有の地域性と文化を物語るマイ文化財のまとまり」を関連文化財群と捉えることとしました。

その中で、地形・地質の特徴や天の川を吹き抜ける強い風が多くの伝説や文化を生み出し、独特の景観を形成することから、これを①「天の川が育む『風の国』」として、一つの関連文化財群を設定しました。

また、交易の拠点となる館が築かれ、『松前年代記』に「神ノ国」と

● 関連文化財群 2 「はじまりの地 “神の国”」

歴史	⑮アイヌと和人の歴史、夷王山墳墓群	⑯上ノ国八幡宮本殿（道）	⑰円空作 阿弥陀如来像 旧笹浪家住宅（重文）
	⑱上ノ国観音堂 円空作十一面観音立像（道）	⑲勝山館跡（史跡）、北海道上之國勝山館跡出土品（重文）、福山街道（歴史の道百選）	⑳夷王山、夷王山神社
	⑳上ノ国観音堂 円空作十一面観音立像（道）	㉑勝山館跡 ガイダンス施設	㉒円空作 観音座像（町）



記された歴史を重視し、アイヌ文化と和人の文化が混交していた時代を中心に、②「はじまりの地『神の国』」を設けました。

さらに、豊富な海産物と人が往来した日本海を地元の方言（せんずけい大漁）を用いて、③「せんずけの海『渡りの国』」とし、これら3つを現段階での関連文化財群と考え、歴史文化保存活用区域と保存活用方針の検討を行いました。

景観	⑳上之國館 調査整備センター	㉑道の駅もんじゅから見える景色
	㉒武田信広（『北海道旧蹟図繪 第7巻』函館市中央図書館を転載）	㉓コシャマイン慰霊祭
	㉔上ノ国昔踊り	

● 関連文化財群 3 「せんずけの海 “渡りの国”」

歴史	⑳重要文化財旧笹浪家住宅	㉑京谷家のニシン漁具	㉒昇平丸	㉓円空仏（光明寺）	㉔石崎漁港トンネル	㉕中外鉦山跡
	⑳つぼっこ汁	㉑けんちん汁	㉒ホッケ干し	㉓日本海に沈む夕日	㉔菅江真澄	㉕ゴジラエビ
	景観	景観	景観	いのち	まつり	まつり

● 関連文化財群と歴史文化保存活用区域

関連文化財群	歴史文化保存活用区域名	概要
①	天の川河口周辺地区	天の川河口部や道の駅もんじゅ周辺の地形と伝説が含まれる地区。
	宮越・早瀬地区	現在でも地元で採れる農産物を使った郷土料理を作る地区。
	湯ノ岱・七ツ岳地区	温泉を拠点とし、アユ・山菜や、秀峰七ツ岳、紅葉などの景観が残る地区。
②	史跡上之國館跡周辺地区	中世のアイヌと和人の文化が残る史跡上之國館跡周辺を象徴する地区。
③	木ノ子・汐吹地区	海水浴した場所やゴジラエビの水揚げや郷土料理のつぼっこ汁が残る地区。
	石崎地区	石崎漁港トンネルや中外鉦山などの近代化遺産と、石崎奴が残る地区。
	小砂子地区	ホッケ干しの風景やけんちん汁などの漁村文化が今なお残る地区。

保存活用計画について

調査部会では、設定した関連文化財群と歴史文化保存活用区域について、それぞれの取組み内容・手法・主体等の「保存活用計画」の検討を行いました。本構想では、保存活用計画の素案を提示して効率的かつ柔軟に事業を進めることができるよう配慮しています。

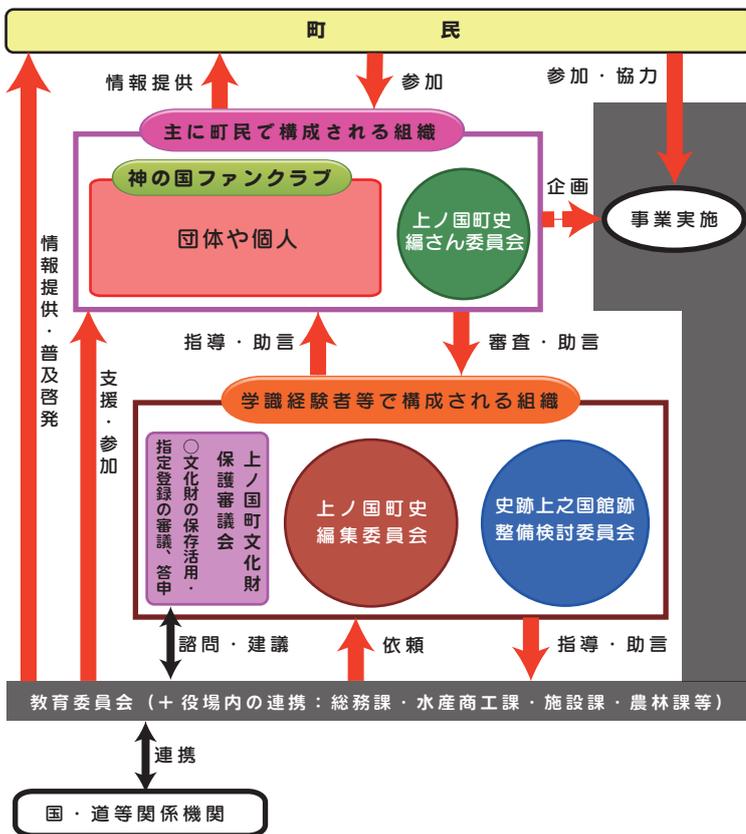
● 保存活用計画（素案）

実施計画	関連文化財群	歴史文化保存活用区域名	概要	取組主体		
				町	団体	住民
前期	①	湯ノ岱・七ツ岳地区	アユを活かした体験学習や山菜などの郷土料理の継承・活用	○	○	●
		史跡上之国館跡周辺地区	北海道上之国勝山館跡重要文化財出土品の展示 アイヌと和人についての情報発信 『松前年代記』『新羅之記録』等の文献史料の調査・整理	●	○	○
	③	木ノ子・汐吹地区	海に親しむ体験事業や海産物を使った郷土料理の継承	○	●	●
		石崎地区	石崎奴の継承	○	●	●
	全域		町民参加による継続的なマイ文化財の調査	●	●	●
			大学等研究機関との連携による調査・研究	●	○	○
		観光ガイドの育成・活動支援	○	●	●	
中期	①	天の川河口周辺地区	道の駅もんじゅ周辺のジオサイトの整備・活用	●	●	○
		宮越・早瀬地区	かたこもち、こうれんなどの郷土料理の保存・継承	○	○	●
	②	史跡上之国館跡周辺地区	花沢館跡 勝山館跡 洲崎館跡の整備・活用 祭典における伝統行事や上ノ国昔踊りの保存・継承 円空仏や菅江真澄の記録の整備・活用	●	●	●
		石崎地区	石崎漁港トンネルの整備、中外鉱山の説明板等の設置	●	○	○
		全域	統一的なサイン計画の策定 マイ文化財を活かした体験・学習機会の創出	●	○	○
	後期	①	天の川河口周辺地区	天の川河口のジオサイトの保存・活用	●	●
湯ノ岱・七ツ岳地区			七ツ岳の登山道の整備	○	●	●
②		史跡上之国館跡周辺地区	福山街道（歴史の道100選）の整備・活用 旧笹浪家住宅・上國寺本堂・上ノ国八幡宮本殿等の整備・活用	●	●	●
		小砂子地区	漁村文化の普及・啓発	○	●	○
全域		マイ文化財を展示する施設の整備	●	●	●	

※ 取組み主体は、町・団体・地域住民の三者とし、主として取り組む場合は「●」、協力的に取り組む場合を「○」としています。実施計画の時期は、それぞれ前期（1～2年）、中期（3～4年）、後期（5～6年）程度を想定しています。

● 保存活用の推進にあたり

歴史文化の保存活用を実践するためには、地域住民・行政・学識経験者らが同じ目線でマイ文化財を活用したまちづくりに取り組み、協働体制を図っていくことが大切になります。そのため、マイ文化財の調査や保存活用事業の企画・立案及び運営を担う「神の国ファンクラブ」を創設し、円滑に歴史文化の保存活用を推進できる体制を整えます（左図）。



歴史文化保存活用の体制

神の国ファンクラブの組織化によって、高齢化や担い手不足が原因で活動が困難になっている団体が横の連携を深め、助け合える体制が生まれることも期待されます。今後は、地域の人々がより多く参画し、マイ文化財がまちづくりの wings を担い、これからの時代を切り拓く手段にふさわしいものになることが重要となります。